

支部協だより

第140号

発行所
N T T 労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
TEL. 098-870-7101
FAX. 098-875-7450
責任者
瀬良垣 武安

誇りは保った!!

しかし、差別は続く

副会長 長嶺 律雄

退職者の会の会員の皆様、
会員の友人・知人の皆様、
大変ありがとうございました。
そしてご苦勞様でした。

今回の参議院選挙では、
辺野古新基地建設反対を明
確な「政策」にして訴えた
「伊波洋一」が十万六千四百
票の大差をつけて現職大臣
「島尻安伊子」を打ち負かし
ました。

また、民進党内で辺野古
新基地建設反対で頑張った
いる「石橋みちひろ」も当選
しました。誠に喜ばしい限
りであります。

今、私たち沖縄県民にとつ
て最優先すべき課題は、辺
野古・高江の新基地建設を
止めることであると私は考
えています。辺野古新基地
阻止は、翁長沖縄県知事の
最優先政治課題にもなつて

います。なぜ重要な課題な
のでしょうか？

二〇一四年八月十三日に
発生した沖国大への軍用ヘ
リコプター墜落事故で
は、米軍は消火活動後の消
防隊を排除して、事故原因
を調べるといふ消防士や警
察官、現場に駆け付けた当
時の伊波市長、建物を管理
している大学関係者の立ち
入りを拒否しました。日本

の民間地域が、大学の自治
権も無視して、米軍の管轄・
管理下に置かれたのです。
外国の軍隊の管轄・管理下
に置かれるということは、
米国の占領下・植民地下に
置かれたということと同義
語です。

このような沖縄の状況に
ついて「政府」は全く抗議
しませんでした。事象が沖

縄の地に起こったからなの
でしょうか？

米国は、「辺野古新基地は
修理を繰り返して二〇〇年
間使う」といっています。
私たち沖縄県民は、人間と
して生きる権利・平等を奪
い取られた植民地化の人間
として、二〇〇年間扱われ
ることになります。

もうこれは、沖縄県民が
今後どう生きて、子や孫の
世代に、どのような生活環
境を与えられるかという具
体的な課題になります。世
代につなぐ生き方、「誇り」
の問題だと考えます。

今回の選挙の圧勝で、沖
縄県民としての誇りの一部
は示すことが出来ました。
誇りの一部分は保ったと考
えています。
しかし、選挙で与党系が

勝利した故か、安倍政権は
相変わらず「辺野古が唯一」
と考えを変えていません。
沖縄の民意は、無視するよ
うです。辺野古のキャンプ
シュワープのゲート入り口
前では、緩やかなデモと、
座り込みが繰り返されて、
抗議行動が二年間も続いて
います。

この抗議行動は、沖縄に
来て現場調査をした国連の
人権委員会の専門委員が
「沖縄県民の当然の抗議行動
であり、県警・機動隊の行
動は、強圧的である」と警
告をしています。

抗議行動の現場では、新
しく生まれた歌や、替え歌、
踊りやダンスが披露されま
す。各市町村からバスもあ
りますし、近くに自家用車
での参加者への駐車場も確
保されています。

月に1、2回は、辺野古
に馳せ参じませんか。

「差別は続く」

よく言われているように、
こんな小さな島に「米軍専
用施設の74%」が配備され
て、ホワイトビーチには原
子力潜水艦が寄港します。
福島では原発事故が発生し
ましたが、原発事故への対
応策は皆無の状況です。

また、沖縄への軍事基地の
集中の根拠は、「軍事的な要
素である抑止力ではなく、
単なる政治的理由である」
と元防衛大臣は述べ、自民
党の重鎮は「他県への移設
では反対運動が起こる」と
述べています。だから、沖
縄に米軍を配置するとして
います。極端な「沖縄への
差別」であります。

でも、沖縄の闘いは、世
界の法律学者や平和運動家
に感銘と共感を呼び、「辺野
古新基地建設反対」やその
署名活動が日本以外の国々
で行われています。大変喜
ばしい限りです。

ところが、安倍政権のマ
スコミへの介入とマスコミ
自身の付度のため、辺野古
問題はあまり報じられては
いません。そのせいか、「辺
野古の新基地建設反対」問
題は、市民的な話題とはなっ
ていません。

過重な軍事基地の沖縄県
民への差別的な押し付けに
もかわらず、これを、差
別ととらえられてはいませ
ん。この認識が変わらない
限り、安倍政権と一体となっ
た沖縄差別は続くことにな
ります。



2016沖縄 ピースステージ 開催!

沖縄の戦後71年を迎えた
慰霊の日の6月23日、沖縄
戦で最後の激戦地となった
糸満市摩文仁の平和記念公
園で、「沖縄全戦没者追悼式」
が沖縄県・沖縄県議会の主
催で行われました。この追
悼式に追隨するべく情報労
連の平和四行動「沖縄ビー
スステージ」が「沖縄慰霊
の日」の6月23日、25日に
行われ、N T T 労組退職者
の会も中央協議会から9名、
沖縄県支部協から会員数名
が参加しました。6月23日
は那覇市民会館2階ホール
で結団式を行い、米軍属に
よる死体遺棄事件被害女性
の冥福を祈り、全員で黙と
うをささげました。6月24
日は、嘉手納基地周辺約20
kmを歩き、基地の広大さを
身をもって体験するととも
に、「在沖米軍基地の整理縮
小」「日米地位協定の改定」
をシュプレヒコールで訴え
ました。昼食後、退職者の
会は本隊とは別に中型バス
にて嘉手納道の駅、ひめゆ
りの塔、通魂の塔を訪れ、
沖縄戦で亡くなられた人々
へ哀悼の意を表し恒久平和

を願ひ、全員で黙とうをさ
さげました。
午後7時から場所は料
亭那覇へ移し、中央協議会
から参加された皆さんと沖

ただ今現役

縄県支部協幹事会メンバー
による懇親会を行いました。
平和行動に参加された皆
さん大変お疲れ様でした。
(事務局長：安里優)

生き生き通信

元気なうちに「あまは い・くまはい」したい

まえかわ
前川 かつこ
勝子



いつもパワフルな勝子さ
ん、退職してよけいパワー
が増したようだ。

琉球電電に入社したのは
一九六八年というから、復
帰前夜の激動の時代だ。

電話交換手の仕事から始
まり、通機(職場は勢理客)
などを経て、六〇歳の退職
時にはビジネスユーザー担
当(楚辺)だった。

現在は劇団与座に属し、
安座間本流澄之会の会員で、
琉舞をやりながら琉球歌劇

伝承者として活躍している。

芝居は年に二、四回出演
していて、主にオバー役や
アヤー役など老け役が多い
らしい(笑)。また、海外で
の公演も多く、アメリカ各
州・ベトナム・フィリピン・
フィンランド・ポナペ・ミ
クロネシア・キューバなど、
世界各地で公演している。

退職者の会の離島交流に
は宮古・八重山と参加して
いて、職場時代の知り合い
とゆんたくするのが楽しみ



フィンランドにて

らしい。

いつも酒の席にいろいろ
多いので、お酒は好きです
かと聞いたら、「酒は飲めな
い」とのこと。本人いわく
「宴席で各人の近況が聞ける
ので楽しい」。最近では一〇
四の交換手時代の仲間と模
合もやっていて、ゆんたく
に花を咲かせているとか。

現在、新都心に近い真嘉
比地区に息子さんと二人で
住んでいて、悠々自適の生
活を送っている。今後やり
たいことは「元気なうちに
あっちこち行きたい。特
にブータンに行きたい」そ
うだ。

いつも好奇心旺盛な勝子
さん、ますますのご活躍を
期待しています。
(聞き手 金城)

参院選勝利 沖退連グラウン ドゴルフ大会

参院選勝利グラウンドゴ
ルフ大会が六月二十九日(水)
浦添市多目的屋内運動場で
行われた。比嘉会長挨拶に
続き、参院選沖縄選挙区候
補の伊波洋一さんは北部遊
説のため代理として成子夫
人が「辺野古新基地はつく
らせない、真の平和のため
に、ぜひイハ洋一を当選さ
せて欲しい」とお願いと接
拶があり、参加者全員が大
きな拍手で応えた。

プレーは全駐労、J P 労、
県・市職労そしてN T T 労
からは一六名の総勢六九名
が参加した。お互いの年と
熱中症対策を考え屋内競技
場としたが、グラウンドが
人工芝のためか、上位から
下位まで、ホールインワン
が続出して、執行部を慌て
させた。

なにしろ、ホールインワ
ンは半数近くの二九名で三
四回、一人で三回も出す強
者まで出る始末で、賞品が
足りず後日組織を通して渡
すこととなった。北部地区
協から参加したベテランは、
経験したことがなく、やり
づらかった、と嘆いていた。

各賞に輝いた県支部協の
関係者は下記の通り(敬称略)
女性の部 2位 平安名康
ホールインワン賞
仲村 實徳 与那嶺 米子
黒島クニ 高江洲 重和
ブルー賞 垣花 廣光

裏方で忙しく世話してく
ださった皆さんご苦勞様で
した、そしてありがとう。
(顧問 黒島善市)

「2016年 熊本地震被災者 支援義援金」協 力に対するお礼!

四月一四日から熊本県熊
本地方で発生した大規模地
震(最大震度7)で犠牲と
なられた方々や、被災され
た皆様とご家族の方々に、
心よりお見舞い申し上げま
す。被災者の方々に心から
寄り添うとの気持ちを感じ
るため、義援金の呼びひか
けを行いました。緊急的に
実施したにも関わらず、た
くさんの会員の皆様から善
意を頂戴いたしました。ご
協力いただきました会員の
皆様、本当にありがとうございます
ございました。

会員の皆さまからお預か
りました義援金は、七月
五日にN T T 労組退職者の
会中央協議会に振り込ませ

ていただきました。義援金
を寄せて頂いた会員は八八
名で義援金の合計額は三八
八、〇〇二円です。本当にあ
りがとうございました。紙
面をお借りしてご報告とさ
せていただきます。
(事務局長：安里優)

トゥシビー おめでとう



山城初子
支部協だよりは皆さんの
活動・活躍が掲載され、か
かさず一三七号まで読んで
います。早七三歳になり、
改めて自分の人生観を振り
返ってみました。

現職時代に培ってきたノ
ウハウが地域活動にかさ
れ、饒波区の長として人作
り、物作り、地域作りに頑
張っている今日この頃です。
健康の秘けつは笑いを取
り入れ、朝の六時三十分
に流れてくるラジオ体操と地
域の人々とのコミュニケーション
ションを大切にしています。
いただいたお祝い金は地
域のボランティア活動に使
わせていただきます。有り
難う御座います。
今後も支部協だよりに期
待しています。
[次号へ続く]